

北上市在宅医療介護連携推進事業 令和 5 年度事業報告書

令和 6 年 7 月

北上市福祉部長寿介護課・北上市在宅医療介護連携支援センター

令和5年度北上市在宅医療介護連携推進事業報告

1. 基本事業

(1) 多職種が連携しやすい環境整備

①連携資源

『北上市内居宅介護支援事業所等ケアマネジャー一覧表』の発行・配付 600部

②市民啓発・広報

●『私のきぼうノート』の配付

1,607部（3月末時点）

●広報きたかみ『かしこく歳をかさねるための豆知識』コーナーへの記事掲載

4月号	ウォーキングで健康長寿の体づくり
5月号	ランチョンマットで健康長寿のお食事チェック！
6月号	熱中症になりにくいカラダづくりを
7月号	体調の変化に備え、安心して暮らすには
8月号	耳の健康に気をつけていますか？
9月号	高齢者の孤立・孤独を防ぐポイント
10月号	家庭内での事故に気を付けましょう
11月号	人生100年時代の骨の健康づくり
12月号	～元気で働き続けるために～ 40代から始める転びにくい身体づくり
1月号	雪かきで腰を痛めないためのストレッチ
2月号	わたしのきぼうノートで話し合い
3月号	カレンダーでフレイル予防！

③研修・人材育成

●医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会

回	開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
1	令和5年7月26日(水)	北上済生会病院・オンライン	「災害時の備えとその対応」 講師：岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 教授 眞瀬 智彦 氏	60人
2	令和5年10月25日(水)		「かかりつけ医とのうまい付き合い方」 ～プライマリ・ケア、総合診療を知ってますか～ 講師：岩手医科大学医学部 総合診療医学講座 助教 山田 哲也 氏	41人
3	令和6年1月31日(水)		「便秘のおはなし」 ～高齢者の便秘と治療～ 講師：北上済生会病院 消化器科長 安部 圭之輔 氏	48人

●ケアマネジメント研修会

開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
令和5年7月26日(水)	さくらホール	「介護支援専門員地域同行型研修」アドバイザー養成研修	13人
		「介護支援専門員地域同行型研修」事前準備会	11人
令和5年12月15日(金)	hoKko	「介護支援専門員地域同行型研修」報告会	32人

●ケアマネ基礎講座

開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
令和5年10月27日(金)	hoKko	医療介護連携編 講師：主任ケアマネ部会	39人
令和6年1月16日(火)	hoKko	社会資源編 講師：主任ケアマネ部会	37人
令和6年2月16日(金)	さくらホール	介護予防ケアマネジメント編 講師：主任ケアマネ部会	40人

●シン・ケアラボ@きたかみ

令和5年度共通テーマ：みんなで描こう「重層的支援体制」のカたち

運営委員会：医療・介護・福祉の専門職8名による企画検討組織 計9回開催

開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
令和5年6月30日(金)	hoKko	多職種による対話の場 テーマ：未来につながる“支援”のあり方を話し合おう 話題提供：ひだまりキラリ☆北上 所長 島津 愛郎 氏（障がい児分野）	61人
令和5年11月13日(月)	さくらホール	多職種による対話の場 テーマ：未来につながる“支援”のあり方を話し合おう part 2 話題提供：北上市手をつなぐ育成会 副会長 菅原 幸二 氏（障がい者をもつ親の会）	44人
令和6年2月6日(火)	さくらホール	多職種による対話の場 テーマ：ひとつの支援がすべてにつながる循環し、共に生きる支援とは・・・？ 話題提供：NPO法人わらすば 理事長 大内 玲子 氏（こどもの貧困連鎖の解消 他）	49人

④広報

- 「在宅きたかみ」連携支援だよりの発行

4月、8月、3月 計3回発行

- 「在宅きたかみ」ホームページの運営

研修・イベント案内、活動報告、社会資源・情報共有シート・連携シートの掲載、事業所一覧等
(令和5年4月～令和6年3月：26回更新)

⑤情報連携ツールの活用

- いわて中部ネットのモニター公告による市民周知

(1月～2月 市役所市民ロビー設置のモニターで放映。)

- めつけ!きたかみ(北上市社会資源検索システム) 令和6年4月 稼働予定で準備

⑥広域連携

国、県、市町村や各種職能団体等からの委員会委員、研修会講師依頼、又は視察受入れに対応した。

- 岩手県主任介護支援専門員研修の講師受任

開催日	場所	研修科目及び講師
令和5年8月31日(木)	アートホテル盛岡	ケアマネジメントに必要な医療との連携 及び多職種協働の実現(講義・演習) 北上市在宅医療介護連携支援センター 主任医療社会事業士 菊池涼子

- 厚生労働省老人保健健康増進等事業

「在宅医療・介護連携推進事業」におけるコーディネート業務と「在宅医療に必要な連携を担う拠点」での業務連携に関する調査検討委員会(年度4回開催)の委員受諾(その他厚労省関連事業等の実績)

回	開催日	開催手法	議題等	委員
1	令和5年7月20日 (木)	オンライン	・コーディネーターのあり方、 業務連携について	副院長兼北上市在宅 医療介護連携支援セン ター長 柴内一夫 (オブザーバー参加) 在宅きたかみ職員 3名
2	令和5年11月28日 (火)	オンライン	・連携拠点ヒアリング、県・市 町村アンケート結果について	
3	令和6年1月11日 (木)	オンライン	・コーディネーターの現状と充 実策について	
4	令和6年2月16日 (金)	オンライン	・調査検討報告書の方向性 について	
関連 事業 等	令和5年10月3日 (火)	オンライン	・在宅きたかみ(連携拠 点)業務ヒアリング(厚労 省)	在宅きたかみ、市長寿 介護課出席
	令和5年10月19日 (木)	オンライン	令和5年度都道府県・市 町村担当者等研修会議 【研修会議Ⅰ】	在宅きたかみ、市長寿 介護課出席

	令和5年10月20日 (金)	東京会場	同上 【研修会議Ⅱ】	在宅きたかみ、市長寿 介護課出席
	令和6年2月27日 (金)	オンライン	在宅医療・介護連携推進 支援事業に係る検討委員 会（親会協議体）	在宅きたかみ (オブザーバー参加)
	令和6年3月11日 (月)	オンライン	中山間地域等における在宅 医療・介護連携調査研究	在宅きたかみ、市長寿 介護課聴講

●紫波郡地域包括ケアセンター視察受入れ

在宅医療連携拠点を設置・運営している紫波郡（紫波町、矢巾町）から視察を受け入れ、交流を図った。紫波郡の拠点は、紫波町並びに矢巾町から「紫波郡医師会」が業務委託を受け、医療法人社団帰厚堂が事務局として運営しているもので、事務局の母体が当センターと同じく病院である。

開催日	視察来訪者	出席者
令和5年12月1日（月）	紫波郡地域包括ケア推進支援センター 矢巾町地域包括支援センター	紫波郡：4名 センター：4名

⑦医療・介護関係機関・団体等ヒアリング調査、アンケート調査

新型コロナウイルスの影響により希薄化した医療・介護の多職種のつながりを再構築するため、3つの連携手法のうち、一次連携の手法による医療・介護関係機関・団体等ヒアリング調査、アンケート調査を7年ぶりに実施し、連携状況や新たな課題の抽出等を4つのフェーズごとに取りまとめた。

●医療・介護関係機関・団体等ヒアリング調査（8種別、19か所）

時期	種別	実施 個所数	備考
令和5年10月5日 ～11月9日	医療機関	3	中部、済生会、花北
	北上医師会	3	市内診療所
	北上歯科医師会	1	役員
	北上薬剤師会	1	役員
	地域包括支援センター	5	三職種
	介護保険事業所	4	特養、小多機、認知症GH、有料老人ホーム
	北上療法士会	1	役員（PT）
	訪問看護ステーション	1	代表

●ケアマネジャー等アンケート調査（4種別、68か所）

時期	種別	実施事 業所数	備考
令和5年10月19日 ～11月6日	居宅介護支援事業所	21	
	地域包括支援センター	6	わっこのわ含む
	地域密着型介護事業所	32	小多機、看多機、認知症GH 特養等
	広域型介護事業所	9	特養、老健、特定ケアハウス

(2) 連携コーディネート

①連携に関わる専門窓口

→P15 在宅きたかみ「相談業務統計」(R5.4月～R6.3月)を参照

②職種間コーディネート

●北上市在宅医療介護連携推進協議会の開催

回	開催日	場所	議題	参加者数
1	令和5年7月20日(木)	北上済生会病院	・令和4年度事業報告 ・令和5年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画	25人
2	令和5年12月18日(月)		・令和5年度事業報告(中間) ・国県の動向(研修報告等) ・事業評価、ヒアリング、アンケート実施等	23人
3	令和6年3月18日(月)		・関係機関団体ヒアリング結果について ・令和6年度北上市在宅医療介護連携推進事業方針(案) ・協議会設置運営要領の一部改正	23人

●自立支援型地域ケア会議「くらしいきいきミーティング」

回	開催日	事例提供者	参加者数
1	令和5年4月27日(木)	地域包括支援センター展勝地	19人
2	令和5年5月18日(木)	地域包括支援センター北上中央	20人
3	令和5年6月22日(木)	地域包括支援センターわっこ	19人
4	令和5年7月27日(木)	地域包括支援センターいとよ	19人
5	令和5年8月31日(木)	地域包括支援センター本通り	20人
6	令和5年9月28日(木)	地域包括支援センター展勝地	21人
7	令和5年10月26日(木)	地域包括支援センター北上中央	19人
8	令和5年11月30日(木)	地域包括支援センターわっこ	25人
9	令和5年12月21日(木)	地域包括支援センターいとよ	15人
10	令和6年1月25日(木)	地域包括支援センター本通り	15人
11	令和6年2月29日(木)	地域包括支援センター展勝地	20人
12	令和6年3月14日(木)	地域包括支援センター北上中央	14人

2. 重点事業

(1) 在宅チームケア体制の構築

①入退院支援

●入退院支援作業部会

回	開催日	場所	議題	参加者数
1	令和5年6月15日(木)	北上済生会病院	・入退院支援作業部会設置要領改正について ・令和5年度入退院支援作業部会活動方針について ・北上市入退院支援ハンドブック改訂版の発行について ・入退院支援ハンドブック改訂版を使用した勉強会・連携会の開催について	14人
2	令和5年10月12日(木)		・北上市入退院支援ハンドブック改訂版の最終確認について ・入退院支援ハンドブック改訂版を使用した勉強会・連携会の開催について	13人
3	令和6年2月8日(木)		・入退院支援ハンドブック改訂版を使用した研修会の開催について ・北上市在宅医療介護連携推進事業に関するアンケート結果について ・在宅情報の共有、退院確定・退院前カンファレンスについて ・令和6年度入退院支援作業部会活動方針について	16人

●「北上市入退院支援のハンドブック」2023年度版の発行（令和6年1月）

令和元年度に発行した2019年度版を入退院支援作業部会で検証・協議を重ね、2023年度版として4年ぶりに改訂し、医療・介護関係機関に配布した。（200部）

●改訂版・入退院支援ハンドブック研修会

開催日	場所	内容	参加者数
令和6年2月14日（水）	北上済生会病院	・入退院支援ハンドブックの活用について ・入退院支援ハンドブック改定のポイント ・グループワーク 「ハンドブックの使い勝手はどうか？」	44人

②認知症支援

●認知症サポーター養成講座

回	開催日	実施団体	参加者数
1	令和5年4月6日(木)	北上信用金庫（新採用職員研修）	9人

2	令和5年4月26日(水)	後藤一区ふれあいデイサービス	16人
3	令和5年4月28日(金)	ぴんぽんクラブ	8人
4	令和5年5月12日(金)	マルハン	7人
5	令和5年6月13日(火)	有料老人ホームきたかみ	4人
6	令和5年6月22日(木)	北上市本通り商店街振興組合	9人
7	令和5年7月5日(水)	ホビーハウスあむあむ	4人
8	令和5年7月28日(金)	ご近所おたすけサポーター	17人
9	令和5年8月2日(水)	北上市社協黒沢尻北支部	21人
10	令和5年9月7日(木)	特別養護老人ホームさくら爽	7人
11	令和5年9月7日(木)	北上手話サークル「虹の会」	12人
12	令和5年9月11日(月)	ふれあい介護保険相談室	4人
13	令和5年9月28日(木)	特別養護老人ホームさくら爽	70人
14	令和5年10月4日(水)	北上市役所新採用職員研修	20人
15	令和5年10月18日(水)	明健堂	6人
16	令和5年10月19日(木)	下大地区	17人
17	令和5年10月20日(金)	一般住民	3人
18	令和5年10月23日(月)	こすもすの会	8人
19	令和5年11月20日(月)	黒沢尻二区	11人
20	令和5年11月24日(金)	ひまわり楽級	9人
21	令和5年11月30日(木)	体操グループふきのとう	7人
22	令和5年12月7日(木)	エスカールボランティア	8人
23	令和5年12月13日(水)	飯豊地区振興協議会	50人
24	令和6年1月9日(火)	ご近所おたすけサポーターフォローアップ研修	8人
合計			335人

●孫世代のための認知症講座

回	開催日	実施団体	参加者数
1	令和5年6月23日(金)	北上市立和賀東小学校	51人
2	令和5年6月23日(金)	北上市立和賀西小学校	12人
3	令和5年6月28日(水)	北上市立南小学校	92人
4	令和5年7月4日(火)	北上市立上野中学校	141人
5	令和5年7月6日(木)	北上市立いわさき小学校	24人
6	令和5年8月30日(金)	北上市立飯豊小学校	94人
7	令和5年9月7日(木)	北上市立黒沢尻北小学校	113人
8	令和5年9月26日(火)	専修大学北上高等学校	22人
9	令和5年9月28日(木)	専修大学北上高等学校	28人
10	令和5年9月29日(金)	北上市立黒沢尻東小学校	138人
11	令和5年10月27日(金)	北上市立更木小学校	12人

12	令和6年2月9日(金)	専修大学北上福祉教育専門学校	31人
合計			758人

●きたかみ版チームオレンジ「チームオレンジすまいる」

チームオレンジとは…認知症初期の段階から心理面・生活面の支援として、認知症サポーターを中心にとした支援者をつなぐ仕組みのこと。

開催日	場所	内容
令和5年9月29日(金)	専修大学北上福祉教育専門学校	認知症サポーター養成講座ステップアップ講座
令和5年11月17日(金)	小規模多機能ホーム おにやなぎ	利用者の話を学生が傾聴する
令和5年11月24日(金)		

●ICTを活用した見守り体制づくり

スマートフォンアプリを活用した「オレンジセーフティネット」の運用

運用実績（検索依頼件数） 14件

3か月毎にソフトバンクとの定例の打ち合わせを実施した。

●VR認知症体験会

開催日	場所	参加者	参加者数
令和5年10月3日(火) 12日(木)	専修大学北上高校	専修大学北上高校2・3年生、専修大学北上福祉教育専門学校2年生	78人

●認知症カフェ「ふらっと」

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	令和5年4月17日(月)	日本現代詩歌文学館 カフェスペース	みんなで考える これからの認知症	12人
2	令和5年5月15日(月)		今から考える これからのこと	17人
3	令和5年6月19日(月)		高齢者と運転免許	29人
4	令和5年7月17日(月)		老後のお金の管理と成年後見制度	28人
5	令和5年8月21日(月)		こんなときの介護保険	23人
6	令和5年9月18日(月)		認知症の初期症状	28人
7	令和5年10月16日(月)		消費者被害にあわないために	18人
8	令和5年11月20日(月)		接し方でこんなに変わる認知症	35人
9	令和5年12月19日(火)		ミニコンサート	28人

●認知症初期集中支援チーム

チームの稼働実績は無し

●認知症ワーキンググループ（認知症施策研究会）

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	令和5年4月20日(木)	hoKko	チームオレンジ、精神科受診について	7人

2	令和5年5月26日(金)		孫世代のための認知症講座について	7人
3	令和5年6月15日(木)		チームオレンジについて	7人
4	令和5年7月28日(金)		まちの保健室について	7人
5	令和5年8月17日(木)		チームオレンジについて	7人
6	令和5年9月15日(金)		認知症サポーター養成講座、VR認知症体験について	8人
7	令和5年10月19日(木)		認知症カフェ、地域課題整理、チームオレンジについて	8人
8	令和5年11月17日(金)		チームオレンジについて	8人
9	令和5年12月22日(木)		認知症カフェ、認知症サポーター養成講座について	7人
10	令和6年1月26日(金)		認知症サポーター養成講座、ヘルプカードについて	5人
11	令和6年2月15日(木)		認知症カフェ、チームオレンジについて	7人
12	令和6年3月22日(金)		認知症カフェ、チームオレンジ、まちの保健室について	7人

●きたかみ認知症支援チーム会議北上医師会認知症専門医と認知症支援チーム会議

開催日	場所	内容	参加者数
令和5年5月26日(金)	hoKko	チームオレンジ、孫世代のための認知症講座について	11人
令和5年7月28日(金)		認知症サポーター養成講座、VR認知症体験について	12人
令和5年9月15日(金)		チームオレンジについて	11人
令和5年11月17日(金)		チームオレンジ経過報告	12人
令和6年3月22日(金)		令和5年度事業報告・令和6年度計画 (チームオレンジ、認知症サポーター養成講座、ヘルプカード)	11人

●きたかみ認知症支援チーム会議事例検討会

開催日	場所	内容	参加者数
令和5年4月20日(木)	hoKko	アルコール性認知症、進行性核上性麻痺(終末期)があり、家族の協力が得られないケース	8人
令和5年6月15日(木)		若年性認知症、意味性認知症、父が認知症で要介護、家族の合意形成が難しく、金銭面の支援が受けられないケース	8人

令和5年8月17日(木)		自律神経失調症、暴力行為、易怒性、関係性妄想があり、親族がいないため支援が受けられないケース	8人
令和5年10月19日(木)		認知症の診断はあるが未治療、本人は希望しないが、家族の強い希望でデイサービスを利用しているケース	9人
令和5年12月22日(金)		グループホームに入所しているが、家族の受診協力等が得られないケース	6人
令和6年2月15日(木)		アルツハイマー型認知症でドラッグストアに頻回に行き、店側が対応に苦慮しているケース	10人

●北上医師会認知症市民公開講座

開催日	場所	内容	参加者数
令和6年1月13日(土)	さくらホール	誰もが笑顔で暮らすために・・・ 映画「オレンジ・ランブ」上映 対談：丹野 智文 氏（認知症当事者）× 柏葉 英美 氏 主催：北上医師会、注文のやんべな料理店プロジェクト 共催：在宅きたかみ、社会福祉士会中部ブロック	300人

③診診連携・病診連携

●北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会

回	開催日	場所	内容	参加者数
1	令和5年7月12日(水)	北上済生会病院	・令和4年度事業報告 ・令和5年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画について	12人
2	令和5年12月13日(水)		・令和5年度事業報告（中間） ・国県の動向（研修報告等） ・事業評価、ヒアリング、アンケート実施等	12人
3	令和6年3月11日(月)		・関係機関ヒアリング結果 ・令和6年度北上市在宅医療介護連携推進事業方針、センター運営方針 ・推進協議会運営要領の一部改正	9人

●在宅医療体制支援事業に係る待機支援事業（県医師会受託事業） ※5年4月～6年3月

利用件数	市内診療所4か所 延べ9件
------	---------------

④看取りの支援

●北上医師会在宅医療講演会・北上医師会緩和ケア医療講演会（在宅きたかみ共催）

開催日	場所	内容	参加者数
令和6年1月27日(土)	日本現代 詩歌文学館	演題①「北上市心づもり事業」について 講師：北上済生会病院 副院長 柴内 一夫 氏 演題②「地域で自分らしく生き抜くための人生会議」 講師：やまと在宅診療所一関 院長 杉山 賢明 氏	100人
令和6年3月17日(日)	日本現代 詩歌文学館	テーマ：「がんになっても住みよい街をめざして」 1 北上市がん対策基金活用事業 北上市健康づくり課 小原暁子 氏 2 最近の肺がん治療について 県立中部病院 那須元一 氏 3 がんを経験して思うこと RFL2024実行委員長 高橋寛美 氏 4 ケアギバーとして思うこと ホームケアクリニックえん 高橋美保 氏	80人

⑤心づもり支援（市民のケア選択支援）

●心づもり勉強会の開催

開催日	団体名	場所	参加者数
令和5年6月5日(月)	社協黒西支部	有田公民館	16人
令和5年8月23日(水)	北上高等職業訓練校	同左	15人

●ノートの作成班の開催

8月にノート改訂（案）をノート作成班に配布し、9月に内容検討を実施した。

開催日	場所	内容	参加者数
令和5年9月25日(月)	北上済生会 病院	・ノート改訂の方向性の再確認 ・ノート改訂内容の検討	13人

●ノート改訂版おためし会の実施

11月から飯豊地区交流センターなど5箇所で開催し、ノート改訂版を実際に使って市民からの意見や感想を聞き取りし、最終案として取りまとめた。

●ノート改訂版の発行

令和6年1月に「わたしのきぼうノート」改訂版を発行(1,700部)

●市立図書館を活用した心づもりの普及活動

開催日	場所	内容	来館者数
令和6年2月10日（土）から 令和6年3月10日（日）まで	市立中央 図書館	・ノート改定版の紹介 ・私のこころづもり・おすすめ本紹介 （3名の医師、看護師より）	14,351 人

●第6回「きたかみACPセミナー」（意思決定支援研修）

令和5年度は開催を見送り、令和6年度に医師会等関係者と協議し企画・実施することとした。

⑥市民のヘルスリテラシー向上支援

●フレイル予防の普及啓発

きたかみいきいき通信の発行	12回
きたかみいきいきカレンダーの発行（1年分）	1回

●きたかみいきいき体操の推進

体操グループ数	74グループ
参加者数	1,062人

●出前講座の開催

内容	実施件数	参加者数
きたかみいきいき体操で健康長寿のくらしづくり	9件	159人

●hoKkoまちの保健室

内容	実施回数	延べ参加者数
専門職による相談会、運動講座のほか、運動体験等	46回 概ね週1回	841人

(2) 医療・介護人材の育成

1.基本事業(1)③研修・人材育成の各種研修会のほか、医療・介護関係機関との協働による人材育成事業を展開した。

●認定看護師等による出前研修

申込件数：9件（うち、1件は看護協会北上支部主催で実施）

研修分野：①感染管理 ②皮膚・排泄ケア ③摂食・嚥下障害看護 ④認知症看護

⑤緩和ケア ⑥救急看護

講師：上記研修分野①～⑥に係る認定看護師等（岩手県看護協会北上支部協力）

No.	開催日	事業所種別	研修分野
1	令和5年6月22日(木)	特別養護老人ホーム	⑥救急看護
2	令和5年6月23日(金)	認知症グループホーム	②皮膚・排泄ケア
3	令和5年9月13日(水)	特別養護老人ホーム	③摂食・嚥下障害看護
4	令和5年12月21日(木)	短期入所専用施設	③摂食・嚥下障害看護
5	令和5年12月27日(水)	特別養護老人ホーム	①感染管理(支部主催)
6	令和6年1月10日(水)	特別養護老人ホーム	②皮膚・排泄ケア
7	令和6年1月22日(水)	特別養護老人ホーム	②皮膚・排泄ケア
8	令和6年2月16日(金)	認知症グループホーム	③摂食・嚥下障害看護
9	令和6年3月19日(火)	特別養護老人ホーム	③摂食・嚥下障害看護

●緩和ケア研修会「星野先生の緩和ケア講座」～ホスピス・ロードショー2023～

主催（事業実施機関）：北上市在宅医療介護連携支援センター、岩手県立中部病院、

北上済生会病院、医療法人社団敬和会、社会福祉法人平和会

回	開催日	場所	テーマ・講師	参加者数
1	令和5年8月9日 (水)	北上済生会病院・オンライン	「緩和ケアってどんなこと？ ・・・だけじゃない緩和ケア」 講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 氏	120人
2	令和5年10月23日 (月)		「インフォームドコンセントとアドバンスケア・プランニング」 講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 氏	120人
3	令和5年12月1日 (金)		「緩和ケア病棟ってどんなところ？」 講師：岩手県立中部病院 緩和ケア特定認定看護師 和泉 安弘 氏	120人
4	令和6年1月23日 (火)		「ゼロからスタート ～がんの痛み止めの使い方～」 講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 氏	120人
5	令和6年2月27日 (火)		「看取りのお作法と家族ケア」 講師：岩手県立中部病院 副院長 星野 彰 氏	120人
6	令和6年3月7日 (木) ※追加で実施	県立中部病院・オンライン	「食欲不振はなぜ起こる？」 講師：岩手県立中部病院 緩和ケア特定認定看護師 和泉 安弘 氏	80名

●医療・ケアチーム症例検討会

令和5年度新規事業として計画したが準備が整わず未実施。令和6年度診療報酬・介護報酬ダブル改定に対応した関係者の協議体（部会）を令和7年度以降に立ち上げることとする。

(3) 身寄りのない高齢者の支援体制の構築

●北上市地域連携ネットワーク会議への参画（北上市権利擁護支援センターとの連携）

開催日	場所	内容	参加者数
令和5年7月26日（水）	hoKko	・令和5年度の進め方について ・身寄りのない方の支援について	18人
令和5年9月29日（金）	hoKko	・身寄りのない方の事例検討①	13人
令和5年12月12日（火）	hoKko	・身寄りのない方の事例検討②	13人
令和6年2月8日（木）	市役所	・今年度の振り返り、次年度の進め方	18人

●医療従事者向け権利擁護研修会

主催：北上市権利擁護支援センター（北上市長寿介護課）

共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

参加対象者：医療機関従事者、連携支援関係者（地域連携ネットワーク会議委員、地域包括支援センター職員）

開催日	場所	内容	参加者数
令和6年2月29日(木)	北上済生会病院	・北上市の権利擁護支援事業推進状況 ・権利擁護支援に係る在宅きたかみの取組状況 ・講義「成年後見制度と権利擁護支援」 講師：弁護士 日高拓郎 氏 ・グループワーク「身寄りのない人の関わりについて」	43人

3. 総括

令和5年度は、3年度から3年間の「在宅チームケア体制確立・充実期」の最終年度として、次の令和6年度からの3年間に於いて在宅医療介護連携推進事業をどのように深化していくべきかを定める重要な年として、平成28年度以降7年ぶりとなる各職能団体へのヒアリングやケアマネジャーを対象としたアンケートを実施したほか、「入退院支援ハンドブック」や「わたしのきぼうノート」の改訂、岩手県保健医療計画における「在宅医療に必要な連携を担う拠点」の位置づけなど、大きな節目となる年であった。また、厚生労働省の老人保健健康増進等事業における調査検討委員会の委員として柴内一夫センター長が任命を受け、北上市の在宅医療介護連携推進事業の取組が高い評価を受けた年でもあった。

研修事業としては、「医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会」「医療従事者向け権利擁護研修会」や「認定看護師等による出前研修」を開催し、医療介護人材の継続的かつ有効な人材育成に引き続き取り組んだ。また、県立中部病院の星野副院長をメイン講師とし、北上済生会病院、医療法人社団敬和会、社会福祉法人平和会との合同企画による「緩和ケア研修会」を、新規事業として計6回開催し、毎回100名を超える専門職等が受講したいへん好評であった。

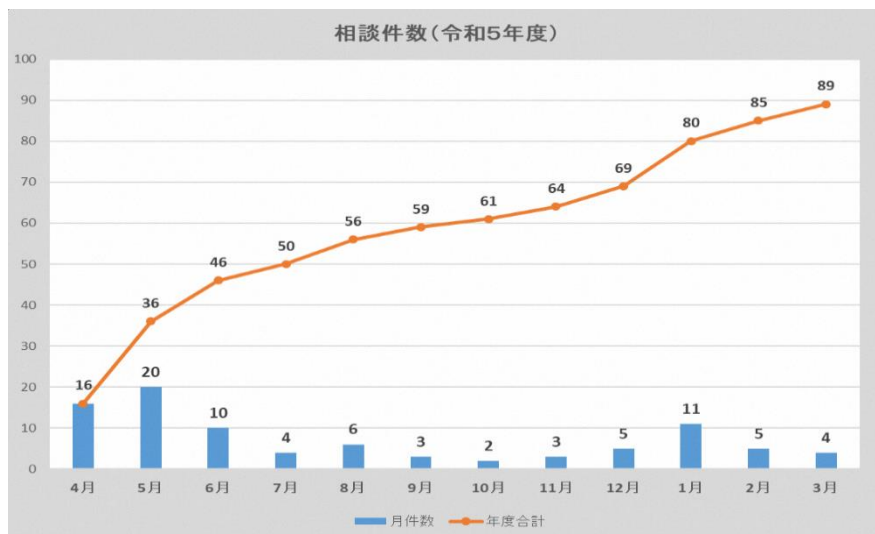
認知症については、サポーター養成講座や、小中高校生を対象とした孫世代のための認知症講座、チームオレンジの取り組みなどを通して、認知症に対する正しい知識と理解を持つ市民を増やし、認知症カフェにおいては気軽に学べる機会を提供するなど、地域で支えあう体制づくりを目指して継続的に事業を進めている。

みんなで描こう「重層的支援体制のカたち」をテーマに開催した「シン・ケアラボ@きたかみ」は、6月・11月・2月の3回行い、医療や介護関係者のみならず、障がい福祉や行政関係者の参加が増え、多職種の顔の見える関係づくりと地域課題の共有の場として、地域共生社会の実現に向けた貴重なものとなっている。

高齢者を取り巻く環境は変化し、複雑なケースが増加しているが、市民を含む複数の関係者が支え、関わり続ける支援体制をつくり、地域全体で互いに支えあうことの重要性が求められている。また、相談体制の充実、課題解決に向けた重層的支援体制の確立の必要性もますます高まっている。

今後は、これまで当協議会で築いてきた医療・介護・行政の連携体制を土台として、高齢者のみならず、障がい者、生活困窮者、こども子育てなど、福祉4分野をつなぎ、支える支援体制の構築を、在宅医療介護連携の視点からも目指すことが求められる。

在宅きたかみ「相談業務統計」(R5.4月~R6.3月)



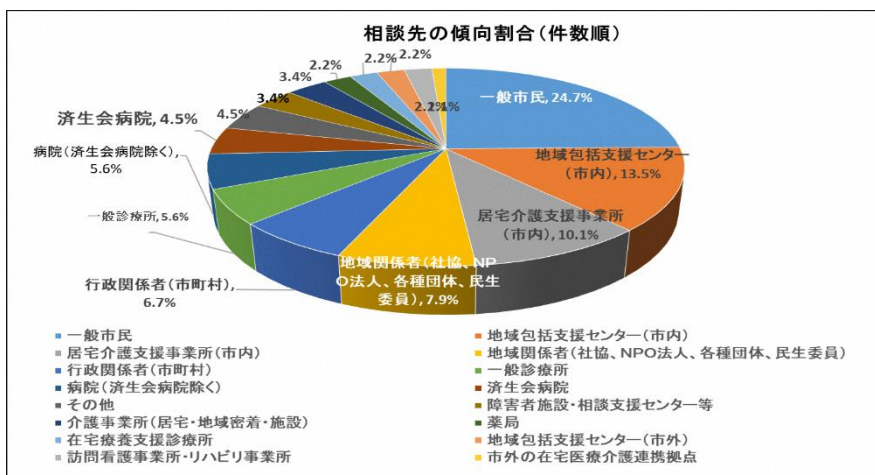
4、5月は相談が多かったが7月以降は5件弱で落ち着いている。1月は入院患者の受入れ施設や在宅療養に関する相談が市民からあるなど多岐に亘る相談が多かった。

【過去3年間の相談件数】

R3: 122 件

R4: 138 件

R5: 89 件



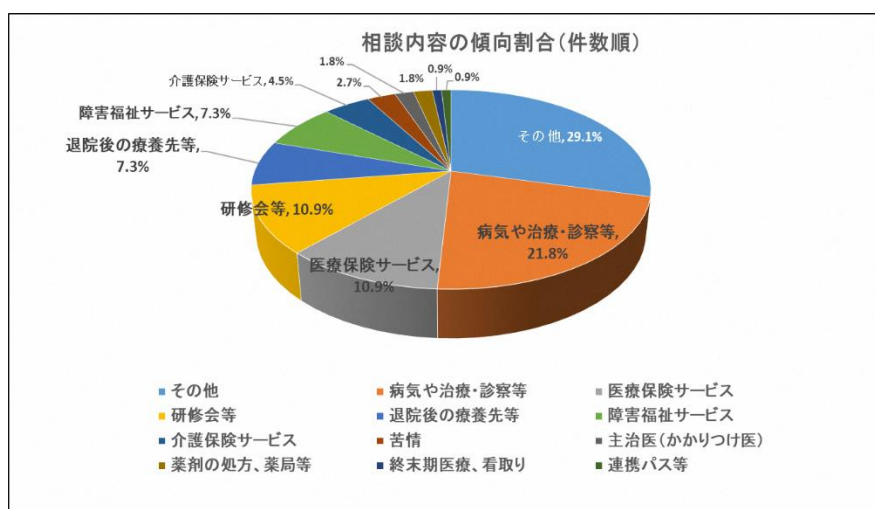
相談先では一般市民が多いが、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の順に多いのは例年どおりである。

【相談先上位】

一般市民: 22 件

地域包括支援センター: 12 件

居宅介護支援事業所: 9 件



例年どおり「病気や治療・診察等に関すること」が一番多くなっているが、研修会の相談や障害福祉に関する相談が増加傾向にあるほか、生活困窮に関連した相談も数件あった。

【相談内容上位】

その他: 32 件(生活困窮、団体PR 他)

病気や治療・診察等: 24 件

医療保険サービス: 12 件

研修会等: 12 件